

農	す	見	を	幸
業	る	える		せ
ビ		る		
ジ		化		
ネ				
ス	V	O	L	10

# 情報を集約し 業務を最速化する

本連載の第1回目で、私は「経営者の仕事は未来を予測することである」と説いた。過去や現在について考える時間はムダであり、そのような時間を減らす工夫として、「ノートパソコンを常にスリープ状態にし、1秒で立ち上げるようにする」「事業の進歩や思いついたことは全てエクセルに入れる」など、普段実践している取り組みを紹介した。すると読者から予想以上の反響があった。そこで改めて、(ゆさかうえに)おけるIT利用の応用編を記したいと思う。

## ✓最小限の投資で最大限の効果

そもそもなぜITを使うのか。単純な話、こんなに少ない投資でこれだけ大きなメリットを生み出すツールは他にない。業務のスピード化、情報の共有など会社の合理化を進める上で、ITは欠かせないものとなっている。

私がITによって、もっとも実現させたいのは「同期化」である。社内のサーバのデータは、外に持ち出したパソコンでも見られるよう設定しておき、紙書類も全てスキャンしてデジタルデータ化する。こうすればどこにいても、働く環境は一定であり、情報が乖離しない。

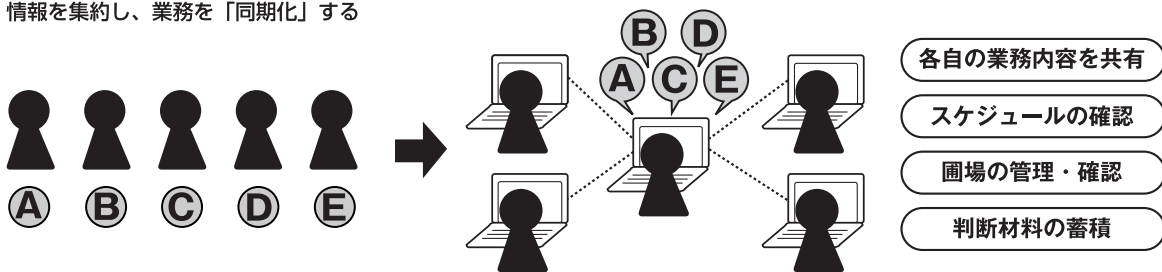
冒頭で「思いついたことはエクセルに入力する」と書いたが、私のスケジュールは1年分、分かっているだけの予定を入力し、社員も見られるようにしている。私がどこへ赴いて、どんな活動をしているかが分かれば、社員は事業の方向性や経営者の考えを察知してくれるだろう。また、話を持ちかけるタイミングを計ることもでき、コミュニケーションも高まる。

同様にスタッフの仕事や今後のスケジュールも、全て「農業工程管理システム」へ入力しておく。管理システムを覗けば、日々の作業内容だ

けでなく、作業前と作業後の写真も確認することが可能だ。圃場の枚数は全部で300箇所あり、実際に見て回ろうとすると丸2日かかるが、パソコンを使えばいつ、どこにいてもチェックができる。何か問題に気付けば、生産部長クラスに即座に指示を与えることもできる。このシステムを導入したことでいい緊張感が生まれた。現実のデータに基づいて、どこをどう改善すればいいか、社員間で話し合う機会も自然に増えている。ITを導入すると人間的な意思疎通が少なくなるという人もいるが、逆である。判断材料が蓄積されることで、成果に直結する高度なチームワークが深まっていくのだ。

当然ながら、使用するパソコンもこだわらなくて選んでいる。データがたまっても動きが遅くなり、作業がはかどらなくなる事態は避けたい。当社では業務用のパソコンを使用している。ワークステーションと

情報を集約し、業務を「同期化」する



- 各自の業務内容を共有
- スケジュールの確認
- 圃場の管理・確認
- 判断材料の蓄積

IT化により、点在する情報を集約。いつでもどこにいても判断材料を目視でき、業務のスピード化をはかれる。



(有)さかうえ社長。1968年鹿児島県生まれ。24歳で就農。コンビニおでん用ダイコンの契約栽培拡大を通して、98年から生産工程・投資・予算管理の「見える化」に着手。これを進化させたIT活用による工程管理システム開発に数千万円単位で投資し続けている。現在、150haの作付面積で、青汁用ケール、ポテトチップ用ジャガイモ、焼耐用サツマイモなどを生産、提携メーカーへ全量出荷する。「契約数量・品質・納期は完全100%遵守」がポリシー。03年、500馬力のコーンハーベスタ購入に自己資金3000万円を投下し、トウモロコシ事業に参入。コーンサイレージ製造販売とデントコーン受託生産管理を組み合わせた畜産ソリューションを日本で初めて事業化。売上高2億7000万円。08年から食品加工事業に進出。剣道7段。

**坂上隆**  
Takashi Sakae

いうタイプだが、医療やデザイナー、設計士など、専門分野で使われることが多く、情報量が増えてもスピードが落ちない。最近是不景気のため、企業がワークステーションを手放すのか、ネットショッピングで掘り出し物を家庭用パソコン以下の価格で手に入れることもできる。

業務が広がり社員が増えると、事務処理量も幾何級数的に増えていく。限られた時間の中で取り組んだ結果、仕事が遅れ、自分、同僚、取引先、多方面に迷惑がかかる。一方で企業が拡大するにつれて情報も拡散していく。そうなるかどうかでもムダが増え、思考も停滞せざるを得

ない。

このような「時間の省略」や「情報の共有」の悩みを解決するツールがITなのである。

そして、社内のシステムに関しては、システム管理会社と契約している。いくら自分のITスキルを高めたとしても、所詮、餅は餅屋。未知の分野に対してはたずらに時間を消費するより、プロフェッショナルに任せるのが一番早い。不具合が生じた時は電話をすれば、リモートコントロールで修復してくれる。

**☑ブログ、メルマガも活用**

社内だけでなく、社外に向けても

ITを活用している。数カ月前からブログとメルマガを始めた。この2つツールの使い分け方もみえてきた。ブログは自分の行動や考え方を広く世の中に伝える手段。メルマガは新商品の発売やテレビ出演のお知らせなど今すぐ知ってほしいことを案内する自社メディアと捉えている。会社への問い合わせが飛躍的に増えている。

何も文章を練って飾ったり、過剰に気構える必要はないのだ。自分の考えていること、行動していることをただ純粹に伝えればいい。

共感してくださる関係者の輪が広がっていくことを実感している。



9月中旬、ケールを定植。鹿児島ではこのごろまとまった雨が降っておらず、灌水をしなから作業となった。